



あなたならどう伝えますか？

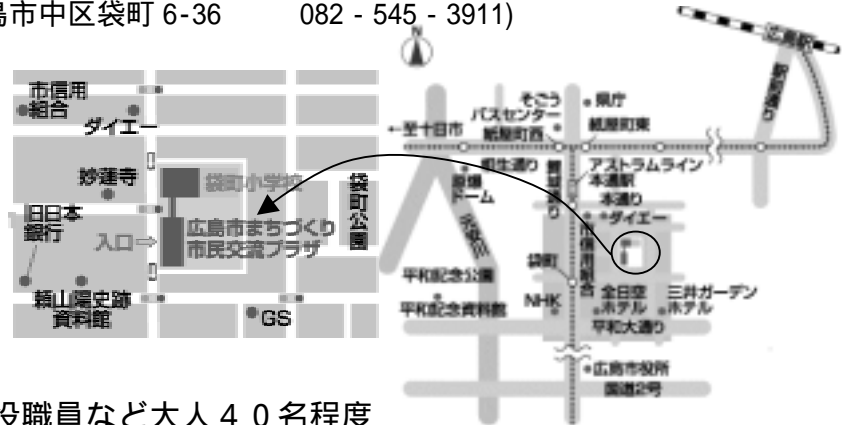
被爆体験の継承について考える学習会

被爆・戦争体験を持たない私たちは、体験者の証言や思いを、どう受け継ぎ伝えていくことができるのでしょうか？ そもそも、体験のない者が被爆体験を継承するとは、どういうことなのでしょうか。

平和を願い、広島にくらす一人として、被爆62年を前に、一緒に考えてみませんか？
1977年生まれの大学院生、竹峰さんから問題提起いただきます。
お誘いあわせの上ご参加ください。お待ちしております。

と き： 2007年 7月2日(月) 13:00~16:00

ところ： 広島市まちづくり市民交流プラザ 6階マルチメディアスタジオ
(広島市中区袋町 6-36 082-545-3911)



参加費： 無料

対象： 生協組合員・役職員など大人40名程度

主催： 広島県生活協同組合連合会

内容(予定):

13:00~14:20 講演「被爆体験を<受け継ぐ>とは? 21世紀に生きる一人として」
(講師: 竹峰誠一郎さん)

14:30~14:50 グループで意見交流(講演の感想)

14:50~15:10 講師とフロアとの質疑応答

15:20~15:40 グループで意見交流 ~わたしたちにできること~

15:40~16:00 まとめ・ご案内

ピースアクションinヒロシマ(8月4・5・6日開催)の、被爆の証言を聴くつどいについてご案内します。あわせて、このつどいの進行役をお手伝いくださる方を募集します。



<講師紹介> **竹峰誠一郎さん**

早稲田大学大学院生、和光大学公開講座で「ヒロシマ・ナガサキ平和学」等を開設し担当。グローバルヒバクシャ研究会共同代表。1977年生まれ。

申込・問い合わせ

資料準備の都合上、お電話にて**6月25日(月)まで**にお申込みください

*当日飛び込み参加も歓迎します

広島県生協連合会 082-502-3850

